

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 2月 21日

事業所名:ぐり'Z

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を遵守したスペースを確保しています。	実際に子供がいる様子を見て分からないが、やや狭い印象。階段が急なのは小さい子は心配。次年度10名とスタッフでは座る場所が確保出来ないのではないか。 はい37%、どちらともいえない42%、いいえ5%、わからない16%	机やテーブルのを配置を考え、スペースの有効活用に努めます。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の職員を配置しています。当日勤務のスタッフを1階に掲示しています。	全職員の資格の有無、配置人数を知らないのので、分からない。満たされているとは思いますが、分からない。新しく入った人がどの人か分からない。 はい63%、どちらともいえない21%、わからない16%	全スタッフの資格を明記した物を提示予定します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的に応じてフロアのレイアウトを考え、安全な動線を確保しています。	構造化や視覚化されている。階段から2階の辺りが危ない。 はい37%、どちらともいえない26%、いいえ%16、わからない21%	階段に関しては、上下を確認しやすいようにカーブミラーを設置いたします。また安全や死角が出来ないように防犯カメラの設置も致します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子どもたちが安全に心地よく過ごせる空間の確保に努め、季節によってはウィルス対策も行っています。	急な階段は心配。 はい58%、どちらともいえない21%、いいえ5%、わからない16%	階段に関しては、上下を確認しやすいようにカーブミラーを設置いたします。また安全や死角が出来ないように防犯カメラの設置も致します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、職員全員でミーティングを行い、定期的に支援目標の確認や振り返り、改善点の共通理解をしています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他業種等の交流の際に、情報を得て改善点を検討しています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、施設内勉強会を計画実施しています。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者面談を3ヶ月毎に実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認・分析して計画を作成しています。		要検討致します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別・集団活動を実施しています。	はい97%、わからない3%	要検討致します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目、具体的な支援・配慮内容を記載しています。		要検討致します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	当日のSSTなどの内容を決める際に、個別支援計画を参考にし、ミーティングにて内容の伝達を行っています。	はい79%、どちらともいえない11%、わからない10%	半年に一度の懇談にて、振り返りにて伝えてはいますが、その際にどのような教材を使っているか希望者にはお伝え致します。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当の職員が主体的な立案者となり、全職員の意見、利用者の現在の状態等を確認して立案しています。		どのような教材にて行っているか、希望者にはお伝え致します。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇のサービス提供時間に応じて、調理やおやつ作りなどに変化を持たせ支援を行っています。	はい74%、どちらともいえない11%、わからない15%	長期休み時に関して、内容に変化を持たす事が出来るか、要検討致します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月毎にSSTの内容は提示し、クラブ活動に関しても内容の変更を実施しています。		要検討致します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、ミーティングで支援内容、役割分担、情報の共有化を行っています。		今後も継続して行っています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、職員全員で振り返りや、翌週のミーティングにて情報の共有化を図っています。		今後も継続して行っています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の支援内容や様子を個々の記録として残し、支援の検証・改善の継続実施に取り組んでいます。		今後も継続して行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	利用日後の保護者面談と法令に基づいた6ヶ月ごとのモニタリングをした結果を踏まえ、支援計画の見直しを行なっています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	保護者からの依頼や担当の方からの提案があれば積極的に参加しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、該当者なし。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、該当者なし。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在のところ、該当者なし。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	アセスメントシート、引継ぎブックを作り、要望があればその次の場所に説明に行っています。	今後も継続して行っています。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	可能な限り、参加しています。	今後も継続して行っています。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域還元フェスティバルにて、地元の方々と触れ合う時間の設定をしています。	はい26%、どちらともいえない26%、いいえ11%、わからない37%	地域でのイベントに積極的に参加と、地域還元フェスティバルの地域への周知をしてもらうように告知等の活動を積極的に行っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域還元フェスティバルにて、地元の方々と触れ合う時間の設定をしています。		地域でのイベントに積極的に参加と、地域還元フェスティバルの地域への周知をもらうように告知等の活動を積極的に行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設の見学時や契約時に支援内容や重要事項を丁寧に説明し、同意を得ています。	明細があるので、ある程度費用について分かり、不明点は問合せ出来るが、明細内容は難しく、見方の説明は受けていない。はい95%、どちらともいえない5%	契約時以外にも、問合せに対しては対応いたします。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を丁寧に説明し、同意を得て交付しています。	はい100%	今後も継続して行っています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施しています。	ペアトレを行って欲しい。はい58%、どちらともいえない16%、いいえ10%、わからない16%	令和二年度より、3事業所合同にて行います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎にいられた際や、何かお伝え事項があった際は、保護者と連絡を取り、お伝えしています。	はい90%、どちらともいえない5%、わからない5%	懇談他、連絡やメールなどを使い、さらに連携を取ります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて時間を設け、懇談や電話・メールなどで相談に応じています。	はい100%	今後も継続して行っています。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回ほど、保護者プログラムを行っています。	はい26%、どちらともいえない37%、いいえ16%、わからない21%	3事業所合同での研修会や、保護者参加型イベントを行っています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	24時間転送電話にて迅速な対応が出来るようにしています。苦情があった場合は速やかに直接お話す、もしくは電話、メールにて対応するよう心がけております。	不満を関した事がない。メールや電話で問い合わせが出来る。子ども達の連絡手段でメールやLINE、電話もあるが、体制まであるかといわれるとよく分からない。はい63%、どちらともいえない5%、わからない32%	契約書にて明記と説明の徹底を行います。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	相談等に関しては電話やメールで随時受けられるようにしています。	はい69%、どちらともいえない21%、わからない10%	情報伝達に関しては、告知の方法を案内だけでなく、1階部分に掲示し、意思疎通に関しては常に受けれる体制という事を伝えていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定やお知らせについては都度、手紙を配布、インスタの活用をしています。	SNSの利用により、インスタで写真を見られるのはとても分かりやすい情報共有になる。ブログでもしてほしい。はい48%、どちらともいえない27%、いいえ4%、わからない21%	不定期更新のインスタグラムを定期的に更新致します。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、鍵付の書庫で保管し、外部に持ち出さないように徹底しています。契約時にはブログなどに写真を載せる可能性があること、本人とは特定できない処理を行うことをお伝えし、了承いただき、実際に行う際は再度確認させていただいております。	はい64%、どちらともいえない5%、いいえ5%、わからない26%	要検討致します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいます。	知らない。 はい26%、どちらともいえない21%、いいえ16%、わからない37%	マニュアル作成はしているので、契約時に提示すると、小冊子にて配布いたします。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回実施をしています。	詳しい事は分からない。 はい11%、どちらともいえない21%、いいえ5%、わからない63%	年に2回行う際に、予定を告知、そして報告をインスタグラムを活用し、報告します。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングにおいて虐待防止についての職員研修を行っています。		今後も継続して行っています。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に保護者に説明し、同意を得ています。現状、身体拘束を行ったことはありません。		今後も継続して行っています。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認しています。		今後も継続して行っています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例はファイリングしています。スタッフ間で共有し、その都度改善策を話し合っています。		今後も継続して行っています。